

# 写真文化首都 北海道「写真の町」東川町 KAGUデザインミュージアム建設支援の会 会員募集のご案内



## 支援の会の目的と、私たちの想い

変わりゆく世界にあって、地方が持つ価値が見直されています。いま、地方には何が求められているのか？ 東川町はいま、何ができ、何をすべきなのか？

ともにこれからの新しいライフスタイルを模索する建築家隈研吾氏と、写真文化首都「写真の町」北海道東川町が、建築と家具が紡ぐ新たなライフスタイルをともに育み、世界へ発信していきます。

現在進行している隈研吾氏との連携プロジェクト事業では、「**建築から地域をデザインする**」隈研吾氏と「**適疎（＝適当に疎がある）な町**」東川町がコラボレーションすることによって、新たなライフスタイルの提案を日本や全国に向かって進めることを目指します。

## 北海道 東川町

東川町は、北海道のほぼ中央に位置する、人口約8500人の町です。東部は山岳地帯で大規模な森林地域を形成し、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部になっています。大雪山系の最高峰旭岳（2,291m）は、東川町域に所在。豊富な森林資源と優れた自然の景観が観光資源として高く評価されています。



## 現在進行中の、隈研吾氏との連携プロジェクトの主な内容

旭川家具、織田コレクション、隈研吾氏の世界の建築設計やプロダクトデザイン、隈研吾&東川KAGUデザインコンペなどを中心に、新たな地域や暮らしのデザインを発信

- ・ 世界の木製家具の保存展示
- ・ 隈研吾氏の建築設計やプロダクトデザイン化した建築模型の保存展示
- ・ 子どもが楽しいと感じる「世界の木製玩具」の制作展示
- ・ IFDA（旭川市）・「隈研吾&東川町」KAGUデザインコンペ入賞作品展示
- ・ 北海道の文化や風土を資源としたデザインがある豊かな暮らしの展示
- ・ デザインミュージアムにふさわしい企画展示

## KAGUデザインミュージアム建設支援の会の内容について

### ■実施主体

KAGUデザインミュージアム建設支援の会

### ■支援呼びかけ人

・ 隈研吾（建築家・東京大学特別教授・名誉教授）、安田侃（彫刻家）、加藤登紀子（歌手）、滝久雄（ぐるなび取締役 役会長・創業者）、菰田正信（三井不動産代表取締役社長）、橋本政昭（橋本総業取締役会長）、分林保弘（日本M&AセンターHD取締役会長）、織田憲嗣（東川家具デザインアドバイザー・東海大学名誉教授）、太刀川英輔（デザイナー・中村拓志（建築家）、野老朝雄（美術家）、原田真宏（建築家・芝浦工業大学教授）、日比野克彦（東京芸術大学学長）、藤原徹平（建築家・横浜国立大学准教授）、鈴木輝隆（地域クリエイター・江戸川大学名誉教授）、松岡市郎（東川町長）

・ 賛助会員：支援受付により随時

### ■支援会員募集対象

個人・企業・団体等

### ■支援会費

個人支援金一口1万円・法人支援金一口50万円、特別支援金一口100万円

### ■支援会費の取り扱いについて

一般寄付・ふるさと納税・ふるさと納税企業版の選択が可能です。\*個人ふるさと納税の場合は、返礼品を選択できます。

### ■支援会員の特典

- ・ デザインミュージアムに係る資料及び催事等の情報提供（1万円以上）
- ・ HP、パンフレット掲載・催事無料チケット・ミュージアム内売店10%OFF（50万円以上）
- ・ デザインミュージアムの銘板にお名前を記入（50万円以上 複数年合計含む）

### ■支援会費の使途

KAGUデザインミュージアムの建設費に充当いたします。

### ■スケジュール（予定）

- ・ 2022年～2025年建設支援金募集開始
- ・ 2025年建設着手予定

## ふるさと納税へのご協力をお願いします

東川町は、「家具デザイン文化」を世界へ発信するデザインミュージアムの実現を目指し、多くの個人及び企業様の応援をお願いいたします。本事業へのご支援につきましては、個人版ふるさと納税「ひがしかわ株主制度」、企業版ふるさと納税にてご支援をお願いいたします。詳しくは、「写真の町」ひがしかわ株主制度ホームページをご参照ください。

写真文化首都「写真の町」東川町 東川スタイル課  
北海道上川郡東川町北町1丁目1番2号 東川町複合交流施設せんとぴゅあII内  
TEL: 0166-82-2111 FAX: 0166-82-5111

### 個人版

制度概要ページ



プロジェクトページ



### 企業版

制度概要ページ



プロジェクトページ

